

# ユニオンファンド 月次レポート

第185号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2024年4月4日作成

## MONTHLY TOPIC

## 桜えび、景気対策、そして株式投資の効果と副作用

### 「骨粗しょう症、桜えび、心臓カテーテル」

随分前のことですが、知人の奥様が骨粗しょう症に良いと言われて桜えびを食べ続けたら、心臓の血管にコレステロールが溜まってしまい、カテーテルを挿入する手術を受けることになってしまったということがあります。幸い今でもお元気ですが、良かれと思って食べたものの、量が多すぎたようです。適切な用法や適度な量というはやはり大切なのだと改めて考えさせられる経験でした。

### 経済政策の効果と副作用

経済政策には、桜えびよりも効果と副作用が不明な部分が多いと言えます。日銀は先月、「異次元の金融緩和策」をほぼ終了しましたが、その効果と副作用については議論が続いています。植田総裁は記者会見で、検証結果をいづれ公表できるだろうと述べましたが、実験ができるわけでも、明確な比較対象があるわけでもないの、検証は複雑で難しい作業であろうと思います。

コロナ禍における経済政策の効果は、おそらく非常に大きかったものと思われます。景気の後退が極めて急速かつ大幅だったことを考えると、短期間での回復に各種対策がよく効いたと考えられます。半面、副作用もかなり強烈で、その後の急激なインフレの大きな要因になってしまったと見ています。効果と副作用のどちらがどの程度大きかったかを明確にするのは、やはり簡単ではなさそうです。

### 心臓に悪くない株式投資

株式投資の場合、効果を測るのは容易です。それ自体は結構なことなのですが、別の問題が生じるように思います。結果が明白ということは、自分の投資行動の良し悪しも簡単に判定できてしまう、ということでもあります。「おカネは命の次に大切」と言われることがあるほどですから、その成功・失敗は精神状態にも大きな影響を与えるでしょう。まして熱心に取り組んだ挙句に失敗したとなると、落胆は深まります。

さらには、後悔して必要以上に臆病になったり、逆に一気に取り返そうと無理な投資に走ったり、ともなりかねません。感情の大きな揺れと、それによる投資行動のゆがみは、株式投資につきまといがちな副作用と言えるかもしれません。感情の影響をなるべく受けないようにすることは、株式で資産づくりをするうえでとても大切です。将来のために良かれと思って始めた投資で大きな失敗をし、それで辛い思いをすることのないように、世界の株式へのつみたて投資を余裕金の範囲内で淡々と進めていただければと願っています。

久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2024年3月末現在)

## 基準価額

38,102円

## 純資産総額

135億97百万円

## 期間別騰落率(%)

1ヶ月	2.20%
1年	24.19%
3年	28.44%
5年	65.62%
10年	105.16%
設定来	281.02%

## 複利年率(%)

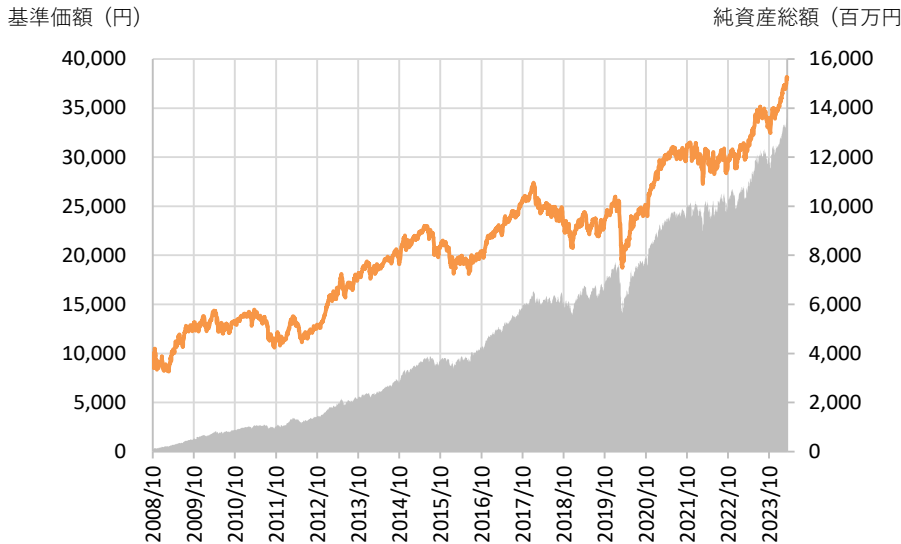
9.04%

\* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

\* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

\* 設定来、分配の実績はありません。

## 基準価額と純資産総額の推移（設定来、分配の実績はありません。）

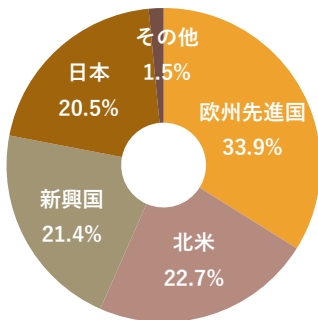


## 組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	5.0%	3.4%
スパークス F	日本	11.9%	1.3%
キャピタル F	欧米	19.5%	3.0%
ハリス F	欧米	19.5%	4.6%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	13.5%	2.2%
コムジェスト・エマージング F	新興国	17.7%	1.2%
現金等	-	12.9%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

## 地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2024年2月末現在)

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2024年3月の市場動向と運用状況

## 投資環境

3月の世界の株式市場は、金融緩和と景気回復への期待から総じて好調に推移しました。米国では、物価統計が予想より高めだったことから、金利引き下げが遅れるのでは、との不安が広がり、月の半ばには株価が一服する場面もありました。しかし、金融政策を決めるFOMC（連邦公開市場委員会）で、景気とインフレが想定より上振れ気味だと認めつつも、年内の利下げ幅の予想を縮小しなかったことから、上昇基調が崩れるには至りませんでした。

当月は欧州株が好調で、上昇率は米国の主要な株価指標を上回りました。インフレ率の低下を背景に利下げ期待が根強いほか、昨年後半から非常に弱かった景気指標に改善の兆しが見えたことなどがプラス要因となりました。また、2月に史上最高値を更新したばかりの日本株は、日経平均株価が4万円の台に乗せるなど好調でした。ただ、年金運用者等による売却への警戒感から、月末にかけて反落し、やや伸び悩みました。

為替市場では、米国の利下げと日本の利上げを巡る先行き予想が主な変動要因でした。月の半ばに円高方向に振れたものの、結局は若干のドル高円安で終わりました。

## 運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は上昇しましたが、市場に比べると動きはいまひとつでした。組入比率がやや低めであることや、日本の小型株と新興国株の動きが鈍かったことなどによるものです。売買は見送りました。月末の組入比率は87.1%と、前月から若干上昇しました。

## 今後の見通し

景気も金利見通しも現時点では株価の追い風になっていると見られます。景気については、米国では堅調な雇用情勢を背景に消費拡大が続きそうですし、日本も春闘での賃上げが想定を上回り、インバウンド需要の盛り上がりも引き続き期待できそうです。景気が非常に弱かった欧州も徐々に立ち直ってきました。中国では相変わらず不動産市況が悪いものの、生産活動は底打ちからやや上向きに転じつつあります。その他の新興国は総じて経済の拡大が続いています。

金融政策については、欧州で利下げが若干早まる可能性がありそうです。米国では、景気もインフレも想定より強めに推移しており、利下げの時期は先送りされ、利下げ幅もかなり小さくなると予想されています。とはいえ、2年前の夏まで急激に物価を押し上げた要因の多くはほぼ消えており、反発気味の原油価格など警戒要素がないわけではありませんが、インフレの低下トレンドが大きく変わることはないと考えられます。

このように投資環境は基本的に良好です。残る問題は、特に米国で利益水準に対して株価が極めて高いことです。また、このところの快調な株価上昇を見て、投資家心理が一段と楽観的になっていることにも留意が必要です。当面は1-3月の業績発表に注目が集まると思われます。投資家やアナリストは業績の先行きを非常に明るく見積もっているため、並みの数字では期待外れとされることになるかもしれません。これらの点を考慮し、下落場面があれば買い増しすることを視野に入れつつ、引き続きやや慎重な姿勢を維持する考えです。

運用責任者 久保田徹郎

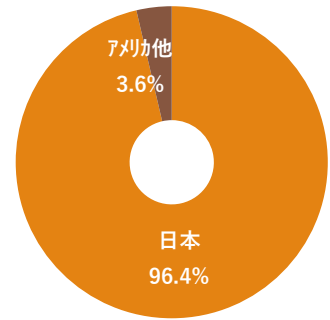
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



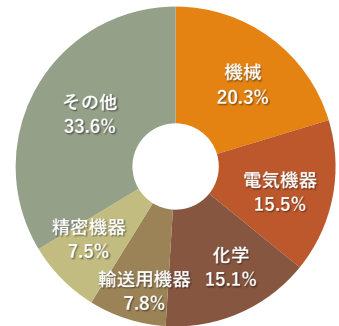
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ディスコ	5.1%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
2 信越化学工業	4.9%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
3 トヨタ自動車	4.3%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
4 プリチストン	3.5%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
5 テルモ	3.3%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
6 ダイキン工業	2.9%	日本	機械	エアコン世界首位
7 INPEX	2.6%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
8 浜松ホトニクス	2.5%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
9 デクセリアルズ	2.2%	日本	化学	電子部品、接合材料、光学材料
10 セブン&アイHD	2.0%	日本	小売業	大手総合小売業
<b>上位10銘柄</b>	<b>33.3%</b>	<b>現金等</b>	<b>11.9%</b>	

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2024年3月末現在 >

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



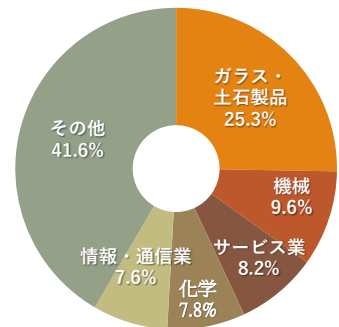
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
メック		日本	化学	電子基板用薬品
東洋炭素		日本	ガラス・土石製品	特殊黒鉛製品 (等方性黒鉛)
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
ダイフク		日本	機械	保管・搬送システム大手
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スケーラー
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
京成電鉄		日本	陸運業	東京・千葉方面の大手私鉄
<b>現金等</b>	<b>6.0%</b>			

業種別構成比(マザーファンド)

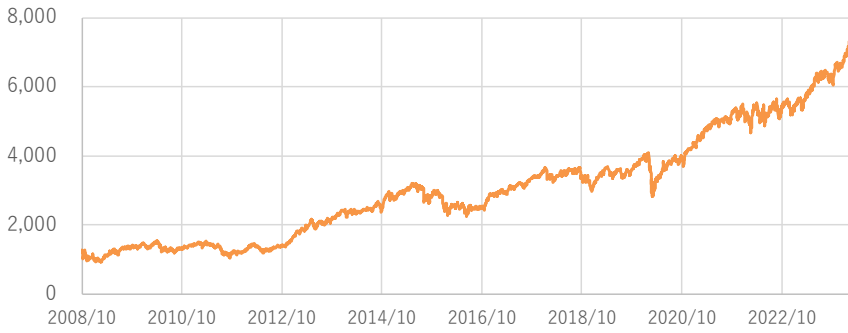


※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2024年2月末現在 >

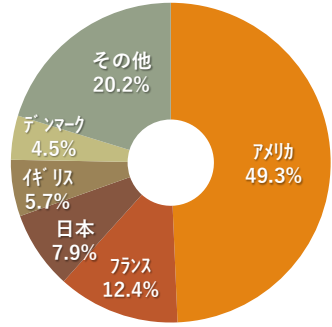
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



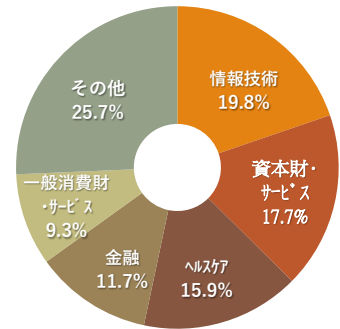
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Novo Nordisk	3.1%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
2 Broadcom	2.8%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
3 Microsoft	2.4%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
4 ASML	2.2%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
5 Safran	2.1%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
6 Alphabet	2.0%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
7 AstraZeneca	1.7%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
8 Apple	1.6%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
9 TotalEnergies	1.6%	フランス	エネルギー	国際巨大石油資本の一角
10 SAP	1.4%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
上位10銘柄	20.9%	現金等	3.8%	

業種別構成比



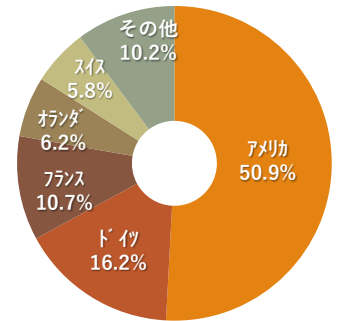
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年2月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリューストックファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



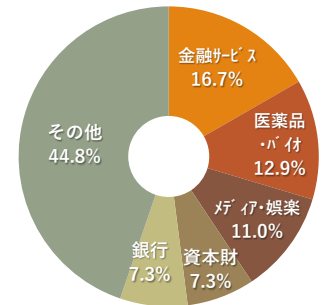
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 IQVIA	4.1%	アメリカ	医薬品・バイオ	薬品会社向け臨床研究・試験等
2 MERCEDES-BENZ	3.9%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
3 BNP PARIBAS	3.8%	フランス	銀行	フランス大手銀行
4 FISERV	3.7%	アメリカ	金融サービス	金融機関向け情報処理サービス
5 CNH INDUSTRIAL	3.7%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
6 ALPHABET	3.4%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
7 BANK OF AMERICA	3.3%	アメリカ	銀行	米国大手銀行
8 KERING	3.2%	フランス	耐久消費財・アパレル	高級ファッション・ブランド 大手
9 CAPITAL ONE	3.1%	アメリカ	金融サービス	銀行、クレジットカード 事業等
10 CHARTER COMMUNICATIONS	3.1%	アメリカ	メディア・娯楽	ケーブルテレビ、携帯電話
上位10銘柄	35.1%	現金等	3.8%	

業種別構成比(マザーファンド)

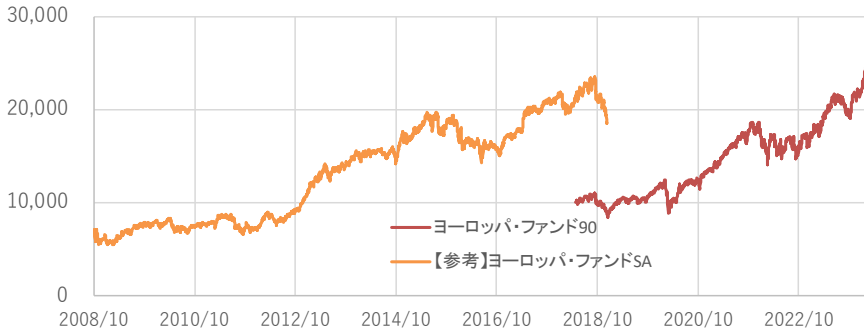


※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年2月末現在>

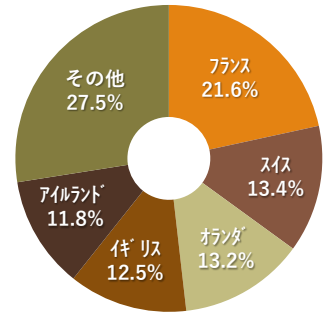
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



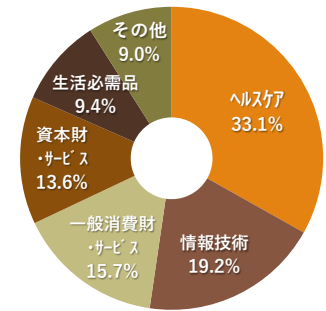
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	8.1%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 NOVO NORDISK	7.7%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
3 ESSLORLUXOTTICA	4.7%	フランス	ヘルスケア	光学製品
4 LVMH	4.3%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
5 LINDE	4.1%	ドイツ	素材	産業ガス世界大手
6 ACCENTURE	4.1%	アイルランド	情報技術	総合コンサルティング会社
7 EXPERIAN	4.0%	ドイツ	資本財・サービス	データ・分析ツールの提供
8 STRAUMANN HD	3.7%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
9 ALCON	3.4%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
10 ICON	2.9%	アイルランド	ヘルスケア	医薬品開発受託
上位10銘柄	47.0%	現金等	4.5%	

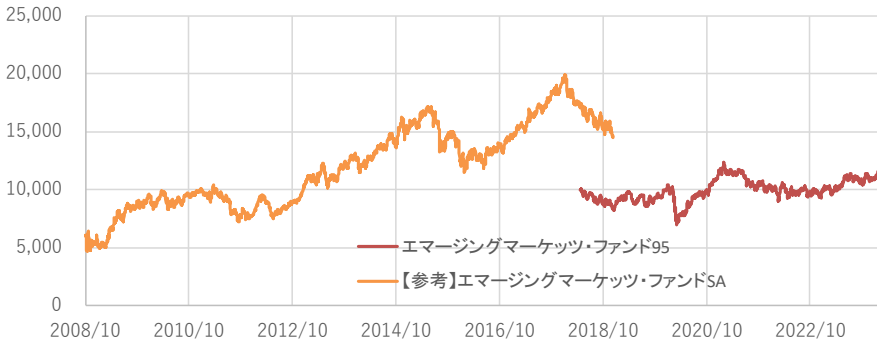
業種別構成比(マザーファンド)



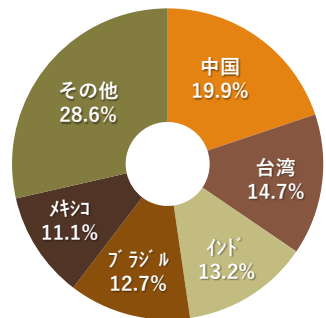
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年3月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



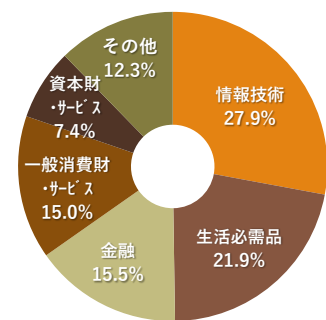
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	8.9%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 SAMSUNG ELECTRONICS	6.2%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
3 FOMENTO ECONOMICO	5.5%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
4 DELTA ELECTRONICS	5.3%	台湾	情報技術	電源、変圧器
5 MERCADOLIBRE	4.7%	アルゼンチン	一般消費財・サービス	中南米中心のEコマース企業
6 Wal Mart de Mexico	4.3%	メキシコ	生活必需品	ウォルマートのメキシコ・中米部門
7 MARUTI SUZUKI	4.1%	インド	一般消費財・サービス	スズキの子会社
8 TENCENT	4.0%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーキング等
9 INNER MONGOLIA YILI	3.7%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
10 POWER GRID OF INDIA	3.4%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
上位10銘柄	50.0%	現金等	3.2%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2024年3月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

## 取引残高報告書について

今回、「2024年1月～3月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。  
※残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎のご報告となります。

## 「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]	円
	基準価額	投資金額 [b]	※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出	
( 預り区分 )	評価金額	受取金額 [c]		
( 決算日 )	取得単価	個別元本		

預り区分	課税口座（特定口座または一般口座）での預り、非課税口座（NISA 口座）をご利用の場合は「NISA（該当預りの適用年）」を表示。
数量	預り区分ごとのユニオンファンドの残高口数。
基準価額	作成日（2024年3月29日）現在の基準価額。
評価金額	預り区分ごとの作成日現在の残高の「評価金額」。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000 で算出されます。）
取得単価	預り区分ごとのこれまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均。 ※ NISA 口座でのお取引の場合は、非課税であるため参考の値です。 ※ 一般口座でのお取引の場合は、表示されません。
個別元本	全預り区分通算でのこれまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均。

以下[a]、[b]、[c]は、一つの預り区分の欄にまとめて記載（全預り区分通算の値）。

評価金額合計 [a]	評価金額の合計。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出しておりません。
運用損益[a-b+c]	作成日現在の運用損益。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

## 【NISA 口座をご利用のお客様】

取引残高報告書の「お預り証券等の残高明細」の次項で、その年の「非課税限度額」および「作成日現在のご利用額」をご確認いただけます。\*

また、お取引の都度お送りいたします「取引報告書（圧着はがき）」においても、NISA 口座でお取引された場合には、その年の作成日現在の残り「非課税ご利用可能額」をご確認いただけます。

※システムの仕様上、「つみたて投資枠」についても記載されておりますが、弊社では「つみたて投資枠」対象商品の取り扱いはありません。「成長投資枠」のみのご利用となります。

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

## 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

## 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。  
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 額** ありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。  
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。

[\*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]

\*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。

※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。